

- 問1 後醍醐天皇が吉野（奈良県）へ逃れて南朝を立て、京都の北朝と対立した「南北朝の動乱」の時期の社会情勢を説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 徳川氏による安定した治世が確立され、参勤交代の制度によって地方の武士が江戸に集住し、平和な都市文化が発展した。 | 2. 長期にわたる戦乱の中で、各地の守護が領国支配を強める一方で、農民も惣を結成して自衛を行うなど社会が大きく変化した。 | 3. 中央集権的な律令制度が再び強化され、すべての土地と人民を天皇が直接支配する公地公民の原則が全国で徹底された。 | 4. 平氏による一門独裁への不満が高まり、源頼朝が鎌倉に幕府を開いて全国に守護・地頭を派遣し始めた。 |
|--|--|---|--|
- 問2 室町時代、農民たちは「惣村」と呼ばれる自治組織を作り、村の運営を自分たちで行うようになりました。14世紀初頭には屋敷地が点在していた村でも、15世紀後半になると屋敷を一箇所に集め、周囲に「濠（ほり）」をめぐらせる形態へと変化した事例が見られます。このような村が作られた主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 庄園領主による支配を強化し、年貢を確実に徴収すること | 2. 城下町を建設し、周辺地域との商業取引を盛んにすること | 3. 外敵や戦乱から村を守るため、自衛の機能を高めること | 4. 幕府が農民の移動を制限し、居住地を管理しやすくすること |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
- 問3 鎌倉幕府を倒した後の政治体制について、新田義貞や足利尊氏らの武士の力を借りながらも、武家政治を終わらせて天皇による親政を復活させようと試みた歴史上の人物は誰ですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 白河上皇 | 3. 天智天皇 | 4. 後醍醐天皇 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問4 世界遺産に登録されている「慈照寺の銀閣」があり、かつて室町幕府の8代将軍足利義政によって東山文化が育まれた都道府県はどこか。（2019年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 滋賀県 | 2. 京都府 | 3. 兵庫県 | 4. 奈良県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 ヨーロッパの商船が日本に渡来して大量の銀を持ち帰るようになった16世紀より前、13世紀末にアジアでの旅行体験を『世界の記述』として書き残し、ヨーロッパ人のアジアへの関心を深めさせた人物として適切なものを選択肢から1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------------|----------|------------|
| 1. マゼラン | 2. ヴァスコ・ダ・ガマ | 3. コロンブス | 4. マルコ＝ポーロ |
|---------|--------------|----------|------------|
- 問6 当時の対外交渉を記した資料において、室町幕府が明との貿易によって得ていた主な輸入品と、日本側から送った主な輸出品の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 輸入：銀・生糸／
輸出：綿織物・茶 | 2. 輸入：砂糖・毛織物／
輸出：米・陶磁器 | 3. 輸入：銅銭・生糸／
輸出：刀・銅 | 4. 輸入：鉄砲・香料／
輸出：金・漆器 |
|-------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|
- 問7 15世紀の琉球王国における貿易の実態について述べた文として、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。当時の記録では、中国へは日本産の銀や刀剣などが、東南アジアへは中国産の陶磁器などが輸出されていたことが示されています。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 尚氏が建国した琉球王国が、アジア各地を結ぶ中継地点として多様な物資を流通させた。 | 2. ポルトガルやスペインの船が琉球を訪れ、キリスト教の布教とともに鉄砲を伝えた。 | 3. 日本国内の物資を独占するため、琉球王国は中国との貿易のみを厳格に制限した。 | 4. 室町幕府が直接管理を行い、倭寇の活動を鎮めるために琉球を軍事拠点とした。 |
|---|---|--|---|
- 問8 日明貿易で使用されたある道具について、縦長の紙の中央に「號」などの漢字が書かれ、その右半分に割印（半分に分かれた印影）が押されている様子を説明した資料があります。この道具を用いた貿易の目的や背景として最も適切なものはどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 明の皇帝から日本国王として認められた義満が、朝貢形式で利益を得るため、倭寇ではない正規の船を証明する必要があった。 | 2. 勘合貿易を通じて得られた宋銭を日本国内に流通させ、貨幣経済をさらに発展させる必要があった。 | 3. 元寇の際、元との緊張状態にあったが、民間レベルでの細々とした貿易を継続するために印が必要であった。 | 4. 鉄砲やキリスト教の伝来を受け、それらの輸入品を江戸幕府が一括して管理するために発行された。 |
|--|--|--|--|
- 問9 1428年、近畿地方の農民たちが団結し、酒屋や土倉などを襲って借金の証文を破棄させ、室町幕府に対して借金の帳消しを命じるよう求めた大規模な行動を何といいますか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|-------|----------|
| 1. 一向一揆 | 2. 土一揆 | 3. 惣村 | 4. 打ちこわし |
|---------|--------|-------|----------|
- 問10 「万国津梁の鐘」の銘文には、当時の琉球王国がアジアの国々との交易によって栄えていた背景が記されています。中国から仕入れた陶磁器や絹織物を日本や東南アジアへ運び、逆に東南アジアの香料などを日本や中国へ転売した、この貿易の形態を何と呼びますか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 朝貢貿易 | 2. 南蛮貿易 | 3. 中継貿易 | 4. 勘合貿易 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 室町時代、村ごとに結成された自治組織である「惣」の力を背景に、農民や運送業者が団結して、幕府や高利貸しに対して借金の帳消しを要求した行動について、彼らが布告を求めた命令の名称として正しいものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|----------|--------|
| 1. 人掃令 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 徳政令 |
|--------|----------|----------|--------|
- 問12 中世の有力な港町に関する記述として、外交上の重要な拠点となり、貿易による経済的な富を背景に有力な商人が自ら町を運営する力を蓄えた「自治都市」の説明として最も適切なものはどれか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|---|
| 1. 蝦夷地のアイヌ民族との交易を独占的に扱い、アイヌ文化と和人文の接点となった。 | 2. 元軍の再来に備えるため、博多湾の沿岸に大規模な石の防壁が築かれた。 | 3. 堺の豪商たちは会衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。 | 4. 石山本願寺を中心として門前町が形成され、一向一揆の政治的・軍事的な拠点となった。 |
|---|--------------------------------------|---|---|
- 問13 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所や寺社の門前などで特定の日に開かれる定期市が盛んになりました。この時期の貨幣経済の状況について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2020年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 和同開珎などの国産貨幣が大量に铸造され、地方の定期市における納税の手段として一般的に用いられた。 | 2. 物価の安定を目的として、幕府によって貨幣の私的な利用が禁止され、米や布による物々交換が主流となった。 | 3. 五街道の整備に伴い、金座や銀座でつくられた金銀貨が全国的な統一通貨として流通するようになった。 | 4. 日本独自の貨幣が铸造されなかったため、宋銭や明銭といった中国から輸入された貨幣が広く流通した。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 長期にわたる戦乱の中で、各地の守護が領国支配を強める一方で、農民も惣を結成して自衛を行うなど社会が大きく変化した。	約60年に及ぶ南北朝の動乱期には、軍事指揮権を持つ「守護」が、その地域の武士を家臣化して領国支配を強める「守護大名」へと成長していきました。同時に、絶え間ない戦火から自分たちの生活を守るため、農民たちが「惣」を作って団結するなど、身分の上下が入れ替わる「下剋上」の風潮とも結びつく社会の構造変化が起きました。
問2	答え 3 外敵や戦乱から村を守るため、自衛の機能を高めること	室町時代中期以降、応仁の乱などの戦乱が続く中で、農民たちは自衛のために結束を強めました。それまでバラバラだった屋敷地を集中させ、周囲に「濠」や土塁を築くことで、敵の侵入を防ぐ「環濠集落」が形成されました。これは惣村による自治の進展を示す象徴的な村の形態です。
問3	答え 4 後醍醐天皇	後醍醐天皇は、隠岐への流罪という困難を乗り越え、足利尊氏や新田義貞らの武士を動かして140年以上続いた鎌倉幕府を滅亡させました。その後、公家を重視した政治を目指しましたが、武士層の不満を招く結果となりました。
問4	答え 2 京都府	慈照寺（銀閣）は現在の京都市左京区に位置している。室町時代、8代將軍足利義政は政治の表舞台から退いた後、京都の東山に山荘を造営し、そこで簡素で気品のある東山文化が栄えた。奈良県には東大寺や法隆寺、滋賀県には延暦寺（一部）などがあるが、銀閣の所在地ではない。
問5	答え 4 マルコ＝ポーロ	13世紀末にアジアを旅し、その体験を『世界の記述』（東方見聞録）としてまとめた人物はマルコ＝ポーロです。彼の著書はヨーロッパ人のアジアに対する関心を高め、後の大航海時代へ大きな影響を与えました。
問6	答え 3 輸入：銅銭・生糸 / 輸出：刀・銅	室町時代の日本国内では貨幣経済が急速に発達していましたが、自前で銭を鑄造していなかったため、明から「永楽通宝」などの銅銭を大量に輸入して流通させていました。また、高級衣料の材料となる生糸や書画なども重要な輸入品でした。一方、日本からは優れた加工技術を用いた刀や、鉱山資源である銅、硫黄などが輸出されていました。
問7	答え 1 尚氏が建国した琉球王国が、アジア各地を結ぶ中継地点として多様な物資を流通させた。	琉球王国は「万国の津梁（世界の架け橋）」と称されるほど、大規模な中継貿易を展開しました。特に15世紀は明が海禁政策（私的な海外渡航の禁止）をとっていたため、朝貢を認められていた琉球がアジア各地の産物を仲介する役割を独占的に担うことができました。これにより、東南アジアの物産が日本や中国に届く重要なルートとなりました。
問8	答え 1 明の皇帝から日本国王として認められた義満が、朝貢形式で利益を得るため、倭寇ではない正規の船を証明する必要があった。	日明貿易は、足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を与えられたことで始まり、中国の皇帝へ貢物を届けてお返しをいただく「朝貢（ちょうこう）」という形式で行われました。説明にある「割印のある札」は勘合（勘合符）であり、明側と日本側がそれぞれ保管していた札を照合することで、明が最も警戒していた海賊（倭寇）を排除し、正式な貿易船のみを受け入れる体制を築きました。なお、宋銭の輸入は鎌倉時代以前から続く平氏の貿易などの特徴であり、鉄砲の伝来は戦国時代以降、江戸幕府の管理は朱印船貿易にあたります。
問9	答え 2 土一揆	室町時代には、農民たちが「惣村」と呼ばれる自治組織を作り、団結を強めていました。1428年には正長の土一揆が起こり、生活に苦しむ農民が実行行使によって借金の帳消しを意味する徳政を幕府に要求しました。これに対して幕府が出した命令が徳政令です。江戸時代の都市部で起こった「打ちこわし」とは時代や性質が異なる点に注意が必要です。
問10	答え 3 中継貿易	琉球王国は大型船を運用し、東アジアと東南アジアの結節点という地理的利点を最大限に活かしました。自国の特産品を売るだけでなく、他国の産物を別の国へ運んで売買を仲介する「中継貿易」を行うことで、莫大な富を築き、文化の発展に繋がりました。銘文にある「世界の架け橋」という言葉は、まさにこの貿易の仕組みを象徴しています。
問11	答え 4 徳政令	室町時代には農民の自立が進み、村ごとの自治組織である「惣（惣村）」が形成されました。生活に困窮した農民たちは、馬借などの運送業者とともに土一揆を起こし、幕府に対して借金を無効にする「徳政令」の発布を強く求め、土倉や酒屋などの高利貸しを襲撃しました。人掃令は安土桃山時代、御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代のものです。
問12	答え 3 堺の豪商たちは会合衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。	堺は和泉国（現在の大阪府）に位置する港町で、日明貿易やその後の南蛮貿易の拠点として莫大な富が蓄積されました。その経済力を背景に、領主の支配を強く受けるのではなく、有力な商人（会合衆）が自分たちで町のルールを決め、運営を行う仕組みを持っていました。他の選択肢にある「一向一揆の拠点」は石山（大坂）、「アイヌとの交易」は北海道方面、「防塁」は元寇の際のものであり、自治都市としての堺の特徴とは異なります。
問13	答え 4 日本独自の貨幣が鑄造されなかったため、宋銭や明銭といった中国から輸入された貨幣が広く流通した。	中世の日本では政府による貨幣鑄造が行われなかったため、日宋貿易や日明貿易を通じて流入した中国の貨幣（宋銭・明銭）が国内の取引で利用されました。農業生産力の向上や手工業の発達を背景に、月3回開かれる三斎市から月6回開かれる六斎市へと定期市の回数が増え、貨幣経済が農村部まで浸透していきました。